

令和6年度指定管理者評価シート

1 管理運営の状況等

(1)施設名	浦和総合運動場・三浦運動公園・浦和北公園
(2)施設概要	①所在地 浦和総合運動場 さいたま市浦和区元町1丁目、本太4丁目地内 三浦運動公園 さいたま市緑区大字三浦地内 浦和北公園 さいたま市浦和区常盤9丁目地内 ②施設の設置目的 浦和総合運動場 都市住民全般の主として運動の用に供することを目的とする。 三浦運動公園 主として近隣に居住する者の利用に供することを目的とする。 浦和北公園 高齢者の福祉の増進を図ることを目的とする。 ③施設の概要 浦和総合運動場 面積 4.32ha 主な施設 野球場、一般競技場、テニスコート、トレーニング場他 三浦運動公園 面積 1.20ha 主な施設 一般競技場他 浦和北公園 面積 1.12ha 主な施設 談話室、テニスコート他
(3)指定管理者	URAWAスポーツパークJV
(4)指定期間、指定管理料	①指定期間 令和6年4月1日～令和11年3月31日 ②指定管理料 令和6年度 88,806千円

(5)施設の管理運営の内容	①運營業務の状況（利用状況含む） ◇利用状況 ・利用者数 浦和総合運動場 108,390人（前年度113,594人） - 三浦運動公園 12,164人（前年度 11,647人） - 浦和北公園 13,231人（前年度 14,612人） ◇業務実施状況 施設維持管理業務、利用者受付業務、公共施設予約システムによる貸出業務、業務仕様書及び事業計画書による業務 ②維持管理業務の状況 保守管理業務 野球場、一般競技場、テニスコート、夜間照明設備等 日常清掃業務 サッカー場（三浦）、管理棟、テニスコートハウス等 定期清掃業務 管理棟、受水槽、園内等 植栽管理業務 高木剪定、低木剪定 ③その他 【市民協働事業】 ・イベント「エコウォーク」の開催。市民とウォーキングを通じた地域のゴミ拾い活動（浦和北公園） 【自主事業】 〔浦和総合運動場〕 ライオンズベースボールアカデミー、小学生初心者テニス教室、朝野球、女子野球イベント、ベースボールスクール、指導者講習会、防災イベント、期間貸しロッカー 〔三浦運動公園〕 小学生女子サッカー教室、グラウンドゴルフ大会 〔浦和北公園〕 手作り雑貨教室、エコウォーク、オセロ大会、パークマルシェ 〔利用者の便益を図るため〕 清涼飲料水等の自動販売機の設置
(6)収支状況	①収入 ・利用料金収入 8,507千円 ・指定管理料 88,806千円 ②支出 ・人件費 37,755千円 ・事務費 9,510千円 ・施設管理費 50,048千円 【自主事業】 ①収入 2,955千円 ②支出 277千円
(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	○三浦運動公園では、施設の利用しやすさについては、概ね良好の評価をいただいたが、トイレの改善を望むご意見がありました。修繕について小便器1台を改修したが、未改修のトイレの要望については、今後関係各所と協議を行い、より良い施設づくりに努めてまいります。 ○浦和北公園では、受付の対応、施設の管理について、「大変良い」「良い」を合わせると90%以上の高い評価をいただいた。常に利用者が安心安全に利用できるよう巡回を強化し、施設管理に努めた。
(8)その他	なし

2 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
「サービス向上に向けた取り組み」・市民共同事業について	○利用料金の支払い手段にキャッシュレスを導入することで、利用者のニーズに対応し、スムーズな料金支払いとなり、サービス向上に努めた。 ○スケジュール会議に参加して各競技団体と調整を図り、市民が平等に利用できるように努めた。 ○ホームページやSNS等を活用し、利用者へいち早く新しい施設情報や利用状況が届くよう情報発信に努め施設の有効活用にも努めた。 ○窓口においては、障がい者の方のコミュニケーション対策として筆談器具のコミュニケーションボードを設置し、誰もが利用しやすい親切・丁寧な施設提供の促進に努めた。 ○アンケート調査を実施し、ニーズを把握し施設運営に役立てている。 ○地域自治体との市民協働での清掃活動、市内中学生との職場体験による未来くるワークの受け入れを実施しながら、地域とのコミュニケーションを図った。 ○浦和総合運動場では、テニス利用者に対して貸しロッカーの提供を継続的に行い利用者の利便性を図った。 ○大会時には協力企業施設の駒場運動公園と駐車場相互利用を行い、駐車場利用をスムーズに行う取り組みに努めた。 【市民協働事業】 ○浦和区民祭りの実施会場として浦和北公園を貸出し、同時開催として自主事業「オセロ大会」を同会場にて実施し、多くの方に足を運んでもらった。 ○地域の子供たちを対象としたプロ選手を招いての各種スポーツ教室、高齢者を対象としたグラウンドゴルフ大会、健康増進と環境問題への意識啓発を目的としたエコウォークなどのイベントを開催し地域との交流を深めた。また新しい取り組みとしてJAさいたま協力の元、北公園にて野菜直売イベント「パークマルシェ」を実施し地域交流を図った。
「指定管理業務に係る経費」・経費縮減のための取り組みについて	○経費執行の適正を図るため業務内容の見直しを継続的に行い、修繕を計画的に実施し、将来にわたっての修繕経費の縮減に努めた。また、軽微な修繕等については職員対応にて実施し、経費の縮減に努めた。 ○大規模大会をはじめ各種大会で使用する浦和総合運動場野球場は、「プロ仕様」の高水準なグラウンドを維持するために専門知識のある職員を配置し、経費の縮減に努めた。 ○SDGsの取り組みの一環として節電や自社修繕・廃材のリサイクル、消耗品その他資機材購入の際は徹底した価格調査を行い積極的な経費の削減に努めた。 ○毎日の水道メーター等の施設点検を行い、漏水等異常箇所を早期発見することで経費削減につながるよう努めている。
「管理運営体制」・危機管理対策について	○危機管理規定、情報セキュリティ規定及び危機管理マニュアルに基づき、管理体制の検証を定期的の実施した。また、台風接近時等には、危機管理部会を開催し、状況に則した準備対応を行った。 ○三橋総合公園において、さいたま市造園業協会から講師を招いた樹木点検ポイント等を学ぶ講習会にJV社員として参加し、安全管理に努めた。 ○カスタマーハラスメントに対する基本方針を定め、職員の心身を守るとともに他の利用者や管理者の信用を失わないための対策をとった。 ○トイレ配管盗難対策として配管へ目印を行った。 ○随時、代表団体と情報共有を行い、施設管理・運営の統一した方向性を定め、サービス水準が向上するよう努めた。

3 評価

(1) 指定管理者による評価

【市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進】

○スケジュール会議に参加して各競技団体と調整を図る一方、市民が平等に利用できるよう特に土日祝日に一般開放日を設けるよう図った。また、各種大会や利用キャンセルが出た場合は、SNSや貼り紙で情報提供を行い、多くの方が利用できるよう努めた。

○ホームページ及びSNSを活用して施設情報の提供や各種教室・イベント等の開催周知を今年度も継続的にを行い、より多くの市民へ利用の促進を図った。

○アンケート調査やグループ独自のホームページより、ご意見・ご要望等を広く受け入れ、その内容を迅速に業務に反映し、市民サービスの向上に努めた。

○園内清掃・植栽管理を徹底し、憩いの公園として利用者が気持ちよく利用できるよう、景観維持と環境整備に努めた。

○浦和総合運動場と駒場運動公園における駐車場の相互利用を行い、駐車場数に関するトラブル軽減に努めた。

【経費の削減】

○環境負荷の軽減及び省エネルギーに配慮した業務を展開し、経費の縮減に努めた。

○清掃及びグラウンド整備等の両業務を自社で実施することにより、外注することなく委託費の削減に努めた。また、職員による施設点検を随時行い不具合箇所の早期発見に努め、小破箇所修繕を職員で行うことで、経費の縮減を図った。

○水道メーターの日々検針・検証を行ない、漏水等の早期発見に努めた。また、SDGsの取り組みの一環として節電や自社修繕・廃材のリサイクル、消耗品その他資機材購入の際は徹底した価格調査を行い積極的な経費の削減に努めた。

【適正な管理運営の確保】

○各公園施設の特徴を活かし、各種関係法令及び管理基準に則し、適正に実施し施設の安全確保に努めた。また、樹木・植栽管理では、枯枝落下防止、美観の確保など安全性、機能性の維持向上を図った。

○浦和総合運動場野球場では、専門知識職員を配置し、高校野球や社会人野球等高いレベルの試合に対応できるグラウンドコンディションに努めた。

【その他】

○消防訓練等の法定訓練を漏洩なく実施。火災や地震発生時に迅速に対応し、利用者の安全を確保できる体制の強化に努めた。

○浦和消防署、さいたま市消防団、地元の本太分団の協力のもと防災イベントを開催、AED講習・消火訓練・起震車体験などを実施し、職員、利用者、地元住民の防災意識の向上を図った。

○浦和総合運動場では、さいたま市教育委員会が実施する中学生の社会体験学習「未来くるワーク」に協力し、勤労観・職業観を育み学ぶことの意義を考える機会を提供した。（浦和総合運動場市内2校を受入れ）

○公園の遊具をはじめ、施設の設備・備品等について、維持管理上、深刻な設備不良に発展することがないよう、保守点検をはじめ、日々の職員による巡回点検を適正に実施し、不具合については早期の発見・対応を行い、利用者の安全確保に努めた。

○施設内の枯枝除去や倒木の恐れがある樹木の伐採については、所管課に確認のうえ、職員や造園業者により速やかに作業を実施し、利用者が安全に施設を利用できる環境の確保に努めた。

(2)さいたま市の評価(評価担当課:都市局みどり公園推進部南部公園整備課)

総合評価 **(B)** ※A~D

1 項目別の評価

①市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進等に関する取組み

土日祝日に一般開放日を設けたり、SNS及びホームページを活用し、施設情報の他にも、主なイベント、空き状況及び一般公開日等を随時掲載したりすることで、多くの市民の方に利用できる機会を提供できている。

②経費の削減に関する取組

節電や、清掃、グラウンド整備、簡易修繕及び売店運営を職員で行うことで、経費削減が図れている。

③適正な管理運営の確保に対する取組み

消防訓練等の法定訓練を漏洩なく実施し、火災や地震発生時に迅速に対応し、利用者の安全を確保できる体制の強化に努めており、地元の消防団等との協力のもと防災イベントを開催、AED講習・消火訓練・起震車体験などを実施し、職員、利用者、地元住民の防災意識の向上を図っており、災害時においても適切な対応ができるよう管理運営の確保に努めている。

2 総合評価

利用促進に係る取り組みを引き続き丁寧に実施したり、専門知識のある職員を配置することで外部委託を減らし経費削減を図ったりすることで、市が求める水準を満たしていることから、総合評価をBとした。

(3)来年度の管理運営に対する指導事項等

市民の方々が常に安心して利用できるように、施設の老朽化を踏まえながら、日々の点検を確実に実施することを心がけてもらう。施設の改善を望む声もあることから、引き続き、修繕・改修が必要であると判断された場合は、早急に報告・相談をするよう指導していく。